

## 支 部 だ よ り

### 中部支部

44年度は秋季研究発表会を名古屋で開くことに終結したが、今年度は中部支部の特色であるOR研究会のより活発化、その他の新しい活動と、会員相互のORへの認識の向上と、さらに親睦を図る企画を進めんとしている。

#### 1. 会員状況

中部7県（愛知、岐阜、三重、石川、富山、静岡、長野）在住のOR学会会員数は、45年6月1日現在の調べでは、

フェロー	2名
通常会員	80名
学生会員	10名
賛助会員	16社

となっている。その後も会員は増えており、現在100名を越えていると思われる。

#### 2. 44年度の活動

秋の研究発表会を名古屋で行なった。そのための実行委員会を支部内に設け、11月28～30日に開催した。そのレポートは「経営科学」13巻4号に、また《パネル・ディスカッション》“経営計画とコンピュータ”は14巻1号に掲載されているのでご覧いただけたと思う。

**OR研究会** 会員相互に啓発しあうための具体的な催しとして、OR研究会を毎月開いている。通常は会員が扱ったケース、研究の経過などの報告をし、ディスカッションをしている。44年度には9回開催し、14のテーマの報告と討論があり、毎回8～16名が集まっている。

#### 3. 45年度の活動

中部支部の中心活動であるOR研究会に加えて、見学会、講演会なども計画され、会員相互の研修から、ORの普及活動にも手を広めようとしている。

OR研究会の開催通知は、これまでは申し込みのあった人のみに出していたが、今年度からは支部の会員全員に毎回通知している。月に1度はどの会員も支部からの手紙を受け取るという形で、支部への意識を高めんとしている。この結果毎月の研究会への参加者が20～30名と倍以上になり、幹事を喜ばせている。

7月には、ミニ・コンピュータで集計計算をし、釣銭の集中管理などを機械化した名鉄電車新名古屋駅の27台の乗車券自動販売機システムの見学をし、好評であった。

秋以降にも、通常の会合の他に、講演会、見学会などを予定している。

#### 4. さらに……

本部、理事会などで、国際OR学会（IFORS）を1975年に日本で開催しようということが話題に上っている。中部においては、開催にまつわる庶務的雑事のお手伝いは難しいので、研究方面での参加ができるように目下検討を進めている。

研究会も出席者が増えるとともに、運営面や内容上でも新たな問題も出てこよう。また中部支部の活動が名古屋地区のみになるということで、その他の地区の会員へのサービスはどうなるかという問題もある。

運営面や研究会の内容にご意見のある方、また中部地区に住みながら支部からの連絡もれとなっている方は事務局（中産連内、TEL 052-941-9431）へお申し出下さい。（真鍋龍太郎記）

## ニ ュ ー ス

### 企業会計情報視察団派遣のお知らせ

期間 昭和46年1月7日より2月1日まで。

#### 視察調査事項

主テーマ

企業会計情報システムをめぐる諸問題：特にOR

やコンピュータ導入によって古い会計情報はどのように変革したか。

個別テーマ

1. 企業会計における数学的方法、ORの導入状況——古い会計情報システムと異なる点——
2. EDP 利用状況——コンピュータによる決算、

## TSS の利用

3. 会計情報を取扱うときのデータの信頼性
4. 日米会計学の経営学的見地からの比較
5. その他

## 国内研修 (10月～12月)

1. 会計学の基礎
2. ORの基礎
3. EDP と AIS (Accounting Information System), BASIC 言語
4. OR と会計学の接点についての日本の現状と問題点
5. カーネギー・メロン大学よりの資料の事前研究
6. Report “Accounting and OR in Japan” 作成
7. 米国における EDP 会計の実情
8. 各訪問先の視察内容の紹介
9. その他

## カーネギー・メロン大学における企業会計情報システム・セミナー

視察期間中5日間をカーネギー・メロン大学において近代会計学についてのセミナーを行なう。講師は同大学の権威により、特にORやコンピュータの活用に関連したテーマをとりあげ、ホテル内へターミナルを持ちこみ、TSSの実習なども行なう。(昭和46年1月11日(月)～15日(金))

## 企業会計情報システムの視察先

セミナー終了後、アメリカの企業会計情報システムの実態について、各企業を訪問して見聞する。

プライス・ウォーター・ハウス社——アメリカの会計システムの実情

ジョージア工科大学 (Georgia Institute of Technology)

ロッキード社——Real Time Materials Control (Inter Lock)

ユニバック社——Time Sharing Center

IMC (化学会社)——PPBS の企業への適用

ファースト・ナショナル・シティ・バンク——銀行業務の EDP

アーサー・アンダーソン会計事務所——コンサルティングの実情

IBM ポーキプシイ工場——情報センターと大型計算機製造過程

SRI (Stanford Research Institute) ——経営システムの研究

ヒューズ社——コンプロマレットの実情

## 視察団の構成

団長 松田武彦 東京工業大学工学部教授

コーディネーター 津曲直躬 東京大学経済学部助教授

## 団員の公募範囲 (20名)

- A. OR ワーカー
- B. 企業における企業会計担当者
- C. 公認会計士 (CPA)
- D. コンピュータのシステム・エンジニア
- E. 銀行及び証券会社の投資関係者
- F. 情報システムの専門家

上記視察団の派遣については、国内研修を充分に実施することによりカーネギー・メロン大学のセミナーをはじめ視察先においての見聞等にいっその成果をあげられることが期待されている。

## “銀行・金融機関のOR” コンフェレンス開催

CORS (カナダOR学会) と AFCET (フランスOR学会) 共催の “CORS/AFCET CONFERENCE ON OR IN BANKING AND FINANCE” が、1971年の秋に、カナダのモントリオールで開催されることが決まりました。内容としては、銀行・金融機関における問題とORの適用、中央銀行や国際金融とORの関係、コンピュータ利用の問題、トップ・マネジメントとORワーカーとの交流などのテーマで、それぞれセッションが催される予定です。詳細がわかりしだい、お知らせいたします。

## 第2回 IFORS 特別テーマ国際会議詳細

テーマ Cost-Effectiveness

期 日 1971年4月12日～4月15日

場 所 ワシントン

各国の研究動向の概況報告、方法論、ケース・スタディの各セッションが催される予定です。参加についてのお問い合わせは、学会事務局へ。

## 関連学会ニュース

下記の国際会議が開催されます。参加ご希望の方は、直接現地とご連絡ください。

会議名 MEXICO 1971 International IEEE Conference on Systems, Networks and Computers.

日程、所 1971年1月19日～21日, Oaxtepec, Mor., Mexico.

主催者 Region 9 and Mexico Section of IEEE.

議 題 Systems Engineering, Systems Science, Management Science, Operations Research, Network Theory, Integrated Circuits, Information Processing, Computer Science, Automatic Control, Communication Systems, Transportation Systems, Power Systems.

連絡先 Dr. M. A. Murray-Lasso ; Instituto de Ingenieria Ciudad Universitaria ; Mexico 20, D. F., Mexico.

問合せ先 日本電気㈱中央研究所 渡部和(ひとし)氏.  
TEL 044 (41) 1111 (川崎市下沼部1753).

会 合 (45年9月) (かっこ内は出席者数)

理事会 45. 9. 21(22) 議題 1.学会の体制強化について報告. 2.企業会計情報視察団の派遣の件. 3.学術会議その他関係機関との会議に出席の役員の件. 4.大西記念文献賞選考委員の件. 5.秋季研究発表会の準備状況. 6.会計報告. 7.第7回 IFORS の国際会議誘致の件. 8.第2回 IFORS 特別テーマ(Cost-Effectiveness) 国際会議へ代表派遣の件. 9.学会誌へ広告掲載の件. 10. TEMPO セミナー第2回の開催の件. 11.学会誌「経営科学」を15巻1号より隔月刊とする件. 12.入退会の件. 13.その他.

研究専門委員会 45. 9. 3. (13)

IAOR委員会 45. 9. 3. (4) ; 45. 9. 29(4)

刊行物委員会 45. 9. 18(14)

広告委員会 45. 9. 18(4)

OR金曜サロン 45. 9. 4 第13回“目的と制約”(9)

庶務幹事会 45. 9. 1(8)

会計幹事会 45. 9. 1(4)

刊行物幹事会 45. 9. 25(10)

研究部会 (45年7月~8月)

(部会報告書提出済のもののみ)

組合わせ理論 45. 7. 24(10) ; 45. 8. 28(11)

設備投資・取替計画の経済計算 45. 8. 15(8)

広告掲載のお知らせ

当学会では、学会誌“経営科学”第14巻第3号より、巻末に広告を掲載することにいたしました。これは、学会誌のいっそうの充実のために、刊行資金の一助とすることを意図したためです。近い将来には、現行の季刊を、隔月刊にすることも考えており

ます。この趣旨をおくみとりの上、広告を積極的にご利用、ご斡旋くださることを、お願いいたします。

入退会 (45年6月28日より9月21日まで・9月21日理事会にて承認)

入 会

(賛助会員)

株式会社芙蓉情報センター

三菱化成工業株式会社

三井物産株式会社

(以上3社)

(通常会員)

加藤彰朗(三菱電機)・市田 嵩(宇宙開発事業団)

・関根敏博(東洋大学)・榎原修身(日立製作所)・

村田秀雄(川崎重工業)・寺崎 実(日本電気)・樋

口伊佐夫(統計数理研究所)・藤木正也(日本電信

電話公社)・藤井虔一(東レ)・木下雄三(東レ)・

佐藤孝吾(日本電気)・岡 孝生(日立製作所)・竹

下寿英(電力中央研究所)・吉沢孫兵衛(日科技連出

版社)・西田知照(九州大学)・大西與平治(千葉商

科大学)・松本浩太郎(千葉商科大学)・加香雪雄

(鹿島臨海鉄道)・杉村正彦(神戸商船大学)・福本

揮芳(東京芝浦電気)・室井房治(日本情報処理開

発センター)・鮫島晃太郎(木更津工業高等専門学校)

・吉田元二(住友化学工業)・御船 泰(出光興

産)・米沢慎吾(東京理科大学) (以上25名)

(学生会員)

齊藤皓一(早稲田大学)・宮村鉄夫(東京工業大学)

・最首和雄(東京大学)・遠藤広治(広島大学)

(以上4名)

退 会

(賛助会員)

萱場工業株式会社

(以上1社)

(通常会員)

水野滋雄・福島 昭・与五沢晴之・中川利雄・三上

厚・風間 健・伊藤公紀・佐藤紀樹・笠原 稔・太

刀川 弘・黒岩淳男 (以上11名)

事務局より

ながらく品切れで、ご迷惑をおかけしていましたが、学会制定の原稿用紙が入荷いたしました。

執筆要領が変更になっておりますので、投稿される際には、制定用紙をご使用くださるようお願いいたします。ご希望の方は、事務局へご連絡ください。

受領図書

下記の図書が、出版社のご好意により寄贈されま

したので、お知らせいたします。

刀根薫“オペレーションズ・リサーチ読本”（日本評論社、1970）

矢矧晴一郎“ORの話”（ダイヤモンド社、1970）

## 月例講演会のお知らせ

来る昭和46年1月から、月例講演会を開催することになりました。

学会として主要な活動である、春秋2回の研究発表会と、和・英文の学会誌の刊行に加えて、研究部会が発足し、また定例的な催しとして、OR金曜サロンが順調に発展してきておりますが、さらに、学会活動をいっそう活発にし、多くの会員が自由に参加できる場として、講演会を毎月開催するということが、大きな意義をもつものと期待されます。会員のみならず、積極的なご協力とご参加をお願いいたします。

講演会の予定テーマ、日程、場所等は次の通りです。詳細はその都度“OR学会だより”で、会員にお知らせする事になります。

**予定テーマ** (1)各手法やトピックスについて最近の研究の紹介、(2)研究発表会では時間不足で十分意のつくせない研究発表、(3)興味あるケース・スタディ、(4)海外の視察報告、学会の出席報告、みやげ話、(5)来日外人学者の講演、など。

**会場** 富士学院の教室。

**日程** 1月 テーマ：交通管制の最近の問題点  
講師：実方希夫氏（松下通信工業）  
1月19日午後6時より

2月 テーマ：整数計画法の最近の進歩  
講師：成久洋之氏（防衛庁）

3月 テーマ：電力部会の研究成果  
担当：電力部会

1月から3月を試行期間として、会員の皆様のご意見を伺いたいと考えています。この期間は、会費無料です。

## “OR学会だより”が発行されます

来年1月から始まる月例講演会のお知らせのために、毎月1回“OR学会だより”が発行されることになりました。講演会以外にも、研究部会からの連絡、ORに関する他学会の催しなどもとり上げて、学会誌の“ニュース”欄の他に、もう一つ、学会と会員とを結ぶ定期便として育てていく予定です。当初は葉書を使って翌月の催しをお知らせいたしますが、内容や体裁についての会員のご意見、ご希望が寄せられることを期待します。

## 御世話下さい——事務局員募集中

学会活動をいっそう活発化するために事務局員を増強する必要に迫られております。会員皆様の御知り合いの中で、お心当りの方がございましたら御紹介下さい。

- 条件**
1. 女性（高校卒以上）1～2名
  2. 年齢 なるべく25才位までの方
  3. 仕事 事務一般
  4. 勤務時間 月～金 9:00～5:00（拘束8時間）、土 9:00～12:00  
ただし、学会の各種委員会・研究会活動の都合で数時間の残業が月2～3回は起ることを考慮して下さい。
  5. 給与 公務員に準じます。
  6. 勤務地 新宿区市ケ谷仲之町18（富士学院内）電話 353-8791

御不明の点は御遠慮なく、事務局に御問合せ下さい。